

- 1 単元名 「海の生きもののひみつ」をしょうかいしよう！  
「サンゴの海の生きものたち」(光村図書2年上)

2 単元目標

- 海の生き物について、不思議に思ったことや知りたいと思ったことに関する情報を集めるために、本や文章を進んで読もうとする。(国語科への関心・意欲・態度)
- 不思議に思ったことについて、なぜそうなっているのかを文章から見付けながら読むことができるようになる。(※指導事項イと関連) (読む能力)
- 本を読んで分かった海の生きものの秘密を伝えるための大事な言葉や文を書きぬくことができるようになる。(※指導事項エと関連) (読む能力)
- 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付きながら、文や文章を読むことができるようになる。(言語についての知識・理解・技能)

3 指導上の立場

(1) 単元について

本単元は、説明文「サンゴの海の生きものたち」を大事な言葉や文に注意しながら読み取る学習と、読みの学習を通して身に付けた力をもとに、興味をもった事柄について調べたりまとめたりする学習から構成されている。

「サンゴの海の生きものたち」は、美しいサンゴの海の中で、生き物たちがかかわり合いながら生活している様子がかかれており、これまで知らなかった海の生き物たちの不思議な生態に、児童は興味をもって読み進めることができる。説明文の教材としてみた場合は、文章構造が「初め・問題提示」「中・例示」「終わり・まとめ」の三部構造になっているため、内容を読み手に分かりやすく伝えることができる。また、「初め」の意味段落で「たがいに、やくに立つように、かかわり合って」と表現されているので、児童にとって難解と思われる共生という要素も読み取りやすくなっている。さらに、段落の構成を考えていく中で、主要なものを見極め、中心となる文や言葉をおさえることで、「中1」「中2」の意味段落に書かれてある生き物相互の関係を深く読み取ることができる。

そこで、おもしろいと思ったことや心に残ったことを伝え合う方法として、海の生きものの秘密を伝える活動を取り入れる。教科書から疑問に思ったことの答えを見付けるために、中心文をおさえ、問題を解決しようとする中で、文中の大事な言葉や文を書きぬくことができる手立てとしたい。また、読み取りで得た力を生かして、図書資料から自分で情報を集め、書き出し、情報を取捨選択し、友達に紹介する活動も取り入れることで、面白いと思うことが、それぞれによって違うということにも気付くことができるようにもしたい。さらに、自分が興味をもった題材を説明することで、広くみんなに伝えようという目的意識をもって取り組むことができる。そうした活動をしていく中で身に付けた力が、国語科の学習だけでなく、他教科などでの情報活用や言語活動の基礎となる力を育成する重要な活動になる。

## (2) 児童の実態

削除しています。

## (3) 本単元と研究主題との関連

本単元では、解説型の説明文を読み、中心となる言葉や文に気をつけながら、自分が興味をもった話題を要約して友達に説明することができるようにしたい。そのために、児童が活動しやすいように課題を設定する。

### ①主体的に読み取ろうとするための手立て

説明文教材では、段落の中心となる言葉や段落相互の関係から、筆者の言いたいことを読み取る力が必要になる。そこで、文章を三部構成に分け、初めと終わりのまとめりから「かわり合い」というキーワードを押さえ、中の2つの意味段落から、中心となる言葉をつかみ段落相互の関係を考えることで、本教材における説明の仕方を読み取らせたい。第一次で、題名読みをし、サンゴが生息する海がどのようなものかを問いかけ、スイミーの学習で出てきたすばらしい海の世界と結びつけながら、楽しい世界を想起したり、三次で自分で見つけた海の生きものの秘密を自分なりの方法で紹介することを知らせたりすることで、学習への意欲付けができると思った。第二次では、本教材から生きものたちの秘密を読み取り、短い文でまとめる活動をすることで、第三次で自分が興味をもった秘密について書かれてある言葉や文を書き抜き、自分の力で説明できるようになることを知り、読み取りへの意欲付けを図るとともに、読む活動に必要な技能を第二次で身に付ける必要感も得られると考えた。そうした活動を経験するこ

とで、児童が主体的に読み取ることができるようになると考える。

## ②読む活動を深めるための手立て

読む活動において、段落の中心となる言葉や文を読み取ったり、初め・中・終わりの役割を考えて段落の相互関係を読み取ったりしたことで、段落の中心となる文や言葉を書き出し要約する手がかりを身に付けることができるようになる。また、説明する題材を、自分が興味をもった題材にすることで、児童が主体的に活動に取り組むことができるようになり、伝えようと思うことがそれぞれに違うということにも気付くようになる。さらに、中心文を押さえる活動で海の生きものがどのようにかかわり合っているのかを知ることで、他の本を読んだときに、どのようなひみつが隠されているのかを見付けながら読むことができるようになり、ひいては、本から読みとった大事な言葉や文を、書き抜くことができるようになると思う。

以上のことを指導していく中で、低学年の目標「順序や場面の様子に気を付けて読み、楽しんで読書できる子ども」につながり、本校の研究主題「言葉の力を高めながら意欲的に学ぶ子どもを目指して」に迫っていくことができると考える。

## 4 指導計画（全10時間）

### 第一次（2時間）

- 第1時 題名読みから、サンゴの海の中を想像し、単元の意欲付けをする。  
第2時 全文を読み、「はじめ」・「中」・「終わり」に分け、文章構造を知る。

### 第二次（4時間）

- 第1時 中の文から、不思議に思ったことを見付け交流する。  
第2時 イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて読む。  
第3時 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読む。

### 第三次（5時間）

- 第1・2時 他の本から、海の生き物についてのひみつを探し、文を書き抜く。  
第3・4時 自分が説明しやすい方法で、海の生きものの秘密を説明する準備をする。  
第5時 書いた文を読み直して、間違いを直し、友達と交流する。

## 5 評価基準

国語科への関心・意欲・態度	読む能力	言語事項
・海の生きものについて、不思議に思ったことや知りたいと思ったことに関する情報を集めるために本や文章を進んで読もうとしている。 【ワークシート・観察】	・不思議に思ったことについて、なぜそうなっているのかを文章から見付けながら読んでいる。 【発言】 ・本を読んで分かった海の生きものの秘密を伝えるための大事な言葉や文を書き抜いている。 【ワークシート】	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付きながら文や文章を読んでいる。 【ワークシート】

6 単元の構想 (全10時間)

過程	次時	学習活動	支援と評価
出 会 う	一①	<p>○題名を読み、サンゴが生きる海を想像し、学習への興味をもつ。</p>	<p>○今までに学習した「スイミー」に登場してきたおもしろい世界と関連付けて、サンゴが生きる海を想像できるようにする。</p> <p>○教科書に書いてあることをまとめる活動をした後に、自分たちで調べる活動をすることを伝え、本単元の意欲付けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本から分かった生きもののかかわり合いをみんなに知らせよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本を読んで説明することに興味をもつことができる。【評価】 関心・意欲・態度 (発言・ワークシート)</p> </div>
	一②	<p>○全文を読み、段落に分け、文章の構造が3部構造になっていることを知る。</p> <p>○初めと終わりから、生きもののかかわり合いがテーマであることを知る。</p>	<p>○今までの学習「たんぼぼのちえ」でした、段落分けや「初め・中・終わり」のまとまりを想起し、全文を分けるようにする。</p> <p>○文章構造を知ることで、本教材が生きもののかかわり合いについて書いてあることが分かるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>説明文のまとまりを意識し、初め・中・終わりについて大まかに分かっている。 【評価】 読む能力 (発言・ワークシート)</p> </div>
追 究 す る	二①	<p>○中のまとまりから、海の生きものたちのかかわり合いのひみつを探し、友達と交流する。</p>	<p>○中の文章を読んで、文を「海の生き物について分かったこと」「生き物たちのかかわり合いで分かったこと」に分けて線を入れ、かかわり合いの秘密に着目できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>中の文を読んで、分かったことに線を入れ、かかわり合いの秘密に着目することができる。【評価】 関心・意欲・態度 (ワークシート)</p> </div>

<p>二②</p>	<p>○イソギンチャクとクマノミのか かわり合いを読む。 (本時①)</p>	<p>○イソギンチャクとクマノミがどうまもり合 っているのかを本文から読み取る。 ○イソギンチャクとクマノミがどうまもり合 っているのかについて、紙芝居を使ってグ ループで説明できるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">クマノミとイソギンチャクのかかわり 合いについて、大事な言葉を使って説明 することができる。【評価】読む能力(発 言・ワークシート)</p>
<p>二③</p>	<p>○ホンソメワケベラと大きな魚の かかわり合いを読む。</p>	<p>○ホンソメワケベラと大きな魚がどう助け合 っているのかを本文から読み取る。 ○ホンソメワケベラと大きな魚がどう助け合 っているのかについて、絵を使って説明す ることができるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ホンソメワケベラと大きな魚のかかわ り合いについて、大事な言葉を使って説 明することができる。【評価】読む能力(発 言・ワークシート)</p>
<p>三① ②</p>	<p>○他の本を読んで、生きものたち のかかわり合いを読み取りまと める。</p>	<p>○前時でおさえた中心文を読み取ることを知 らせ、海の生きものがどのようにかかわり 合っているのかを読み取ることができるよ うにする。 ○ワークシートを用意し、かかわり合いのま とめ方を振り返ることで、興味をもって取 り組むことができるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">大事な言葉に気付き、海の生きもの のかかわり合いを読み取っている。【評価】 読む能力(発言・ワークシート)</p>

表現する・生かす

三③ ④	○読み取ったことを伝える準備をする。	○生きものたちの秘密の表現の仕方として、前時に示した絵で伝える方法や紙芝居で伝える方法を振り返ることで、意欲的に活動に取り組めるようにする。 ○発表の仕方によっては、グループを作ってもよいことを伝え、友達とかかわりながら、活動することができるようにする。 ○発表原稿の型を示し、それに記入することで、分かりやすく伝えることができるようにする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">海の生きものの秘密を進んで表現しようとするができる。【評価】関心・意欲・態度（観察・ワークシート）</div>
三⑤	○海の生きものの秘密を発表し、交流する。 (本時②)	○作った文章を読み直し、間違いがあれば直すようにする。 ○自分が選んだ方法で、友達と交流し、中心文を意識して文を書くことで相手に伝わるようになる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">生きものの秘密について、友達の発表を意欲的に聞いたり、発表したりしている。【評価】関心・意欲・態度（発言・ワークシート）</div>

7 本時案①

目 標	クマノミとイソギンチャクのかかわり合いについて、大事な言葉を使って、説明することができる。(読む能力)		
過程	学習活動	教師の支援	準備物
つかむ	1 本時のめあてについて確認する。	○ イソギンチャクとクマノミのかかわり合っていることについて確認し、本時は、それぞれがどうまもり合っているのかを調べることに気付くようにする。	
	クマノミとイソギンチャクはどのようにまもり合っているのだろう。		
高める	2 音読する。	○ 中1のまとまりを、まもり合いの中に隠されている秘密を見つけながら読むように助言する。	イソギンチャクとクマノミの写真 ワークシート
	3 お互いがどうまもり合っているか読み取る。	○ クマノミとイソギンチャクが、お互いにどうまもり合っているのかについて、クマノミとイソギンチャクそれぞれについて考えることで、まもり合っている文を見付けることができるようにする。 ○ 教科書の本文をリライトしたワークシートを準備することで、まもり合っている部分が分かりやすいようにする。	
Qクマノミはイソギンチャクをどうまもっているのか。 ・この魚が近づいてくると、カチカチと音を立てて、おいはらってしまいます。 ・イソギンチャクを食べにくる小さな魚がいます。			
Qイソギンチャクはクマノミをどうまもっているのか。 ・クマノミを食べる大きな魚は、イソギンチャクをこわがって、近づいてきません。 ・イソギンチャクのしょく手には、どくのはりがあります。			
まとめる	4 生きものの秘密について読み取ったことをもとに説明する。	○ クマノミを食べる大きな魚が近づいてきた様子を紙芝居で見せ、板書を手がかりに、この後どうなるのかを言葉で説明することができるようにする。 ○ グループに1セットずつ紙芝居を配り、まもり合いについて言葉を使って説明することができるようにする。 ○ 上手にできているグループには前で発表してもらうことで、全体に広げることができるようにする。	紙芝居(グループ分)
	・クマノミを食べる魚はイソギンチャクのどくのはりをこわがって、近づいてきません。 ・クマノミはイソギンチャクを食べる魚をカチカチと音を立てて、おいはらってしまいます。		
<b>評価【読む能力】</b> クマノミとイソギンチャクのかかわり合いについて、大事な言葉を使って、説明することができる。【発言・ワークシート】			
	5 次時の学習について知る。	○ 次の時間には、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて考えていくことを告げ、本時のまとめとする。	

7 本時案②

目 標	海の生き物のひみつについて、友達の発表を意欲的に聞いたり、調べたことをわかりやすく発表したりすることができる。		
過程	学習活動	教師の支援	準備物
つかむ	1 本時のめあてについて確認する。	○事前に発表の場を設定しておく。 ○海の背景図を準備し、ひみつを見つける会への意欲を高めるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">海の生きもののひみつはっぴょう会をひらこう。</div>	海の背景図 座席の配置
高める	2 グループ内で発表する。	○発表の前に、海の生き物のひみつを伝えるために工夫した点や努力した所を発表することで、聞き手への興味を湧かせる動機づけとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">＜海の生きもののひみつ発表会＞</p> <p>○発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・発表するタイトル</li> <li>・工夫したところや見どころ</li> <li>・説明</li> <li>・学習を通して学んだこと</li> <li>・あいさつ</li> </ul> <p>○感想の交流</p> </div> <p>○自分の発表する海の生き物のひみつと比べて、似ている所や、その発表から「どんなことがわかったか」「どんなことをもっと知りたいのか」についての視点で聞くようにすることで、内容についての感想交流へとつながるようにしたい。</p>	
まとめる	3 全体の場で発表する。	○数名の児童は前で発表することで、全体に広げることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">評価【関心・意欲・態度】</p> <p style="text-align: center;">生き物の秘密について、友達の発表を意欲的に聞いたり、発表したりしている。【発言・ワークシート】</p> </div>	
	4 振り返りカードを書く。	○発表会を通して「伝えたいことをわかりやすく話せたか」「友達の発表を最後まで聞くことができたか」の視点で振り返るようにする。	振り返りのワークシート